

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響は収まりつつあるが、令和4年度においては、これまでと同様に、度々訪れる感染の波の影響で、イベントや交流事業など十分な活動は出来なかった。

(1) 公益目的事業の実施

感染状況を注視しながら、主要な事業である「租税教室」は税務署・中学校側と慎重に協議し中学校4校で実施することができた。また地元で開催される各種イベントにおいて「税金クイズ」を実施し、税知識の普及並びに納税意識の高揚に努めました。

また会員支援の一環でもある各種研修会は、インボイス制度や年末調整説明会など、時代の要請に合わせたテーマを取り上げ、徹底した感染予防対策のもと開催した。

そのような状況下でも、女性部会が行う「絵はがきコンクール」と「手作り雑巾贈呈」事業は、税務署・市教育委員会、また各学校等のご協力をいただき、ほぼ例年通り実施することが出来たが、なかでも指宿市内全小学校へ雑巾寄贈は初の試みとして実施することが出来た。

(2) 組織運営と財政基盤

令和4年度も、新型コロナ感染拡大の影響により、加入推奨が難しい状況にあり、会員数は減少した。福利厚生制度の推進についても推進活動ができない状況が続いた。

また、コロナ禍により、親会・部会・支部の会員交流会が開催できず、法人会のメリットである異業種交流における情報交換の機会が減ることとなった。

このようなことから、令和4年度においても、組織の強化と財政基盤の強化を図ることが難しい年であった。